

議員研修会

8月21日に都市経済常任委員会の企画により、市役所にて研修会を行いました。

（講演内容）

6次産業化でまちおこし
〜赤い果実はまちの宝物〜

（講師）

株式会社
アセローラフレッシュ
専務取締役
並里康次郎 氏

沖縄県本部町でアセローラを栽培し、加工商品として販売しておられる並里氏を講師として迎え、アセローラによるまちおこしについて講演していただきました。

約30年前、並里氏の両親はサトウキビ栽培が中心だった本部町に、より付加価値が高く高収益が見込めるアセローラを持ち込み、沖縄の自然環境に適した栽培方法を研究され、産業として確立されたそうです。その後、栽培農家も徐々に増え、今で



は「アセローラの町」と呼ばれるようになり、本部町の特産品となっています。

現在は行政の補助による機械導入や沖縄県からは本部町が拠点産地として認定されるなど、順調に行政との協力体制がとれています。本部町では「アセローラの日」を制定して、町をあげてのイベントが毎年開催されています。

6次産業の振興については、「本気度」が重要であり、本市の今後の取り組みに大変参考となりました。

所管事務調査

（意見交換会）

9月13日に総務文教常任委員会の所管事務調査として、市立小学校PTA会長の皆様と意見交換を行いました。

（調査内容）

学校施設及び児童の
安全確保について

学校施設については、子ども達の安全のために、何年も整備を要望しているが、予算等の都合もあり実施されていない事についての話がありました。一方で、小学校で順次進められている自校式学校給食については、高い評価もいただきました。修繕の予算は、ある程度学校側の裁量で利用できるように、定額を配分してもらえるとスムーズに修繕ができるのではないかとこの提案もいただきました。

児童の安全確保については、防犯カメラの設置は、本来そのような対応がなくても地域の見守りで安全なまちづくりがなされるべきであるとの意見もありましたが、犯罪の抑止

力としては導入も必要であるとの認識で皆さん一致していました。特に、PTAとして遺跡公園など人のいない公園を保護者で定期的にパトロールしているが、防犯カメラ設置は防犯上有効ではないかという意見も出されました。交通安全では、市内は狭い道路が多いため、カラー舗装やスクールゾーン指定が必要である。カラー舗装は昨年度末にかなり実施されたが、引き続き通路には必要であるため、推進して欲しいとの意見も出されました。

活発に意見交換がなされ、大変参考となりました。委員会としても担当部署へこの内容を伝え、課題の改善に向けて前進させてまいります。

